



南極ではたらく

南極ってどんなところ? どんな仕事をしているの?

5.29.Sun

ゲスト講師



あかまつ みお
赤松 滯
気象庁職員(第62次南極地域観測隊)

南極地域観測隊の越冬隊として気象観測を担当した赤松さんをお招きして、南極地域観測の仕事についてお話を聞きました!

南極の写真や動画を使用しながら参加者にお話をして頂き、ペンギンの写真やオーロラの動画、昭和基地の中の様子の動画など、なかなか見ることができない貴重なものを見せていただきました。参加者たちは、感嘆をあげながら赤松さんのお話を聞いており、質問コーナーでは昭和基地での生活や気象観測の仕事、南極のことなどさまざまな質問があがりました。大学生からの「南極地域の観測隊に応募

するならどんな素質が必要ですか」という質問では、「何事にも協力的な人が向いています。31人で約1年間一緒に共同生活をするのでいろいろな個性を認められる人が良いです」と答えていました。

終了後、小学生の参加者が「南極のことが知れて良かった。いつか行ってみたい!」と職員に話す姿もありました。

南極の仕事が私達の生活にどのように生きるのか聞き、南極や気象に興味が出ました。



高校学1年 Aさん



3.26.sat ~ 4.2.sat

のげともウィーク開催!

春休みに合わせて開催した「のげともウィーク」。e-sportsやボードゲーム、モルックなど様々なジャンルの遊びをみんなで楽しみました!特に新中学1年生は、遊べるものが増えたり、滞在可能時間が20時までになったりしたことなど、過ごし方の広がりを喜ぶと共に、普段中々できない遊びに興味津々でした。

モルックではどのピンを倒せばよい得点に繋がるかみんなで考えながら遊びました。また、お互いの持ち札を考えながら遊ぶボードゲーム「タイガー&ドラゴン」では、みんなで白熱した心理戦を楽しみまし

た。中高生のみんなで一緒に遊んだり、話し合ったりできる「のげとも」では、みんなの想いを大切に、「どうすればのげ青がみんなにとって過ごしやすい居場所」になるか考え、実践することもできます。「のげとも」での活動を楽しみにしている子はもちろん、ふらっと遊びにきた子でも参加できるプログラムですので、「参加したいな～」と思ったら、ぜひ参加してみてくださいね!

単独か複数のピンを倒すか考えながらモルックを投げることで楽しかった!



中学1年 Yさん



5.8 Sun

宇奈根の渡し

連携団体 喜多見児童館

今年で9回目となる宇奈根の渡しは5月に開催されました!以前は色々な屋台やゲームコーナーがあり、1000人規模で開催していましたが、今回はコロナ禍ということもあり、80人規模での開催となりました。

世田谷区の3つの青少年交流センターが協力して、釣り竿に魚やキャラクターを引っかけて釣る「フィッシング&キャラキャッチ」という魚釣りをモチーフにしたゲームコーナーを出店しました!

宇奈根の渡しを終えた子ども達がたくさん遊びに来てくれ、魚を大量に釣るのに夢中になっていた様子でした。出店参加した若者は普段のイベントとは異なる子どもたちとの出会いや交流を楽しみながら活動することができました!

準備が大変だったけど遊びに来てくれた子どもたちが楽しそうにしていた良かった!



中学3年 Sさん

世田谷地域

地域連携企画レポ

6.1~ Wed

児童館連携サイコロ企画

連携団体 玉川地域中高生交流事業 TBT



6月1日から6月30日まで5つのサイコロを振って高得点を目指していくTBTチャレンジを実施しました。合計点が高い人がランキングに載るので、みんな上位のランキングを目指し気合をいれてサイコロを振っていました。館内のランキングには小学生と若者も記録されるため、サイコロ設置をしていると中学生だけでなく小学生から20代の若者までの幅広い年齢の人が楽しそうにチャレンジしてくれていました。

宇奈根の渡しとは?

多摩川の水上では、かつて「宇奈根の渡し」と呼ばれる渡し船が、日常の交通手段として使われていました。その宇奈根の渡しを喜多見児童館の子どもたちが力を合わせて2014年に復活しました!

TBTとは?

TBT「(T)玉川(B)ブロック(T)TEENS」の総称です。内容は、玉川地域にある6つの児童館と野毛青少年交流センターが共催のもと中高生同士や職員との交流を図ります。

誰でもチャレンジできるけど、高い数字を取るのは中々難しかった。



高校生 Tさん